

小児血液培養汚染率に関する滅菌手袋と非滅菌手袋の装着効果比較に関する患者さんの情報の研究利用についてのお知らせ

この度国立病院機構東京医療センター小児科では、「小児血液培養汚染率に関する滅菌手袋と非滅菌手袋の装着効果比較」を行うことになりました。この研究の目的は、小児患者の血液培養を採取する際の最適な方法を明らかにすることです。

この研究の対象となるのは2024年2月1日より2028年1月31日までに当科へ入院して血液培養を採取された未就学児以下の方の診療録の調査を行います。調査項目は採取時年齢、病名、採取に要した時間、治療経過、血液培養検査結果、採取者が使用した手袋の種類などです。患者さんのお名前、住所などのプライバシーに関する情報が外部に漏れることは一切ありませんのでご安心下さい。

調査したデータは、本研究の責任者のもとで厳重に管理されます。今回の研究で得られた結果に関しては、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告されることがあります。

ご自身のデータを研究に利用することを承諾されない方は下記にご連絡下さい。その場合も、診療上何ら不利な扱いを受けることはありません。

この件に関しましてご質問等がございましたらご遠慮なくお尋ね下さい。

2024年1月

研究責任者

東京医療センター 小児科医員 前田 直則

連絡先 03-3411-0111(代表)